

気象条件及び評価方法等の変更に伴う再評価結果 (1 / 2)

【事故時評価】

単位：mSv

記載箇所	対象号機等	気象条件	評価対象核種	気体							液体				合計	判断基準		
				放射性希ガスからのγ線による外部被ばく	放出放射性核種からのβ線による外部被ばく	吸入摂取による内部被ばく	地表沈着による外部被ばく	再浮遊による内部被ばく	葉菜摂取による内部被ばく	牛乳摂取による内部被ばく	小計	放射性液体廃棄物等の排水	構内散水した屋内雨水の処理済水	構内散水した5、6号機滞留水の処理済水			直接線・スカイライン線による外部被ばく	
II-2.4 原子炉圧力容器・格納容器への注水設備	添付資料5	1号機	1979年度	放射性希ガス、ヨウ素(臨界による放出を想定)	9.1E-03	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	1.3E-02	希ガスは沈着せず、ヨウ素は短半減期であり長期的影響は小さいため対象外	同左	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	/	2.2E-02	5mSv以下(安全審査指針)	
			2020年度		2.2E-02		4.2E-02									6.4E-02		
		1979年度	3.3E-03		2.0E-03		6.2E-03									1.2E-02		
		2020年度	6.2E-03		5.9E-03		1.0E-03									2.4E-03		
		1号機(5km)	1979年度		1.4E-03		1.0E-03									2.1E-03		2.4E-03
		2020年度	2.6E-03		1.6E-02		4.7E-03									2.4E-02		
II-2.11 使用済燃料プールからの燃料取り出し設備	添付資料3-3	2号機	1979年度(成人)	放射性希ガス(Kr-85)、ヨウ素(燃料集合体破損による放出を想定)	1.2E-04	3.5E-04	1.7E-06	希ガスは沈着せず、ヨウ素は短半減期であり長期的影響は小さいため対象外(I-129は外部被ばくへの寄与が小さいため対象外)	希ガスは沈着せず、ヨウ素は再浮遊率が低く(10 ⁻⁴ m ⁻¹)吸入摂取の被ばく経路に比べ小さいことは明らかなため対象外	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	4.8E-04	5mSv以下(安全審査指針)		
			2020年度(成人)		3.3E-04	1.2E-03	5.9E-06								1.6E-03			
		1979年度(小児)	1.2E-04		3.5E-04	9.2E-07	4.8E-04											
		2020年度(小児)	3.3E-04		1.2E-03	3.2E-06	1.6E-03											
		3号機	1979年度(成人)		1.5E-04	4.6E-04	2.2E-06								6.2E-04			
		2020年度(成人)	3.6E-04		1.4E-03	6.9E-06	1.8E-03											
II-2.1 原子炉圧力容器・格納容器注水設備	添付資料5	2号機(破損体数7体)	1979年度	放射性希ガス(Kr-85)、ヨウ素(燃料集合体破損による放出を想定)	3.6E-04	1.1E-03	4.4E-04	希ガスは沈着せず、ヨウ素は短半減期であり長期的影響は小さいため対象外(I-129は外部被ばくへの寄与が小さいため対象外)	希ガスは沈着せず、ヨウ素は再浮遊率が低く(10 ⁻⁴ m ⁻¹)吸入摂取の被ばく経路に比べ小さいことは明らかなため対象外	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	1.9E-03	5mSv以下(耐震Bクラス相当)		
			2020年度		1.0E-03	3.7E-03	1.5E-03								6.2E-03			
		1979年度(小児)	3.6E-04		1.1E-03	2.3E-04	1.7E-03											
		2020年度(小児)	1.0E-03		3.7E-03	8.1E-04	5.5E-03											
		2号機(破損体数449体)	1979年度(成人)		2.3E-02	6.9E-02	2.8E-02								1.4E-01			
		2020年度(成人)	6.4E-02		2.4E-01	9.6E-02	4.1E-01											
II-2.1 原子炉圧力容器・格納容器注水設備	添付資料5	過渡相当	1979年度	Cs-134, Cs-137(上部構造材に付着したセシウムの蒸発による放出を想定)	6.8E-11	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	2.9E-08	9.0E-07	7.2E-09	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	9.3E-07	5mSv以下(安全審査指針)		
			2020年度		1.7E-10		9.0E-08	2.8E-08	2.9E-06									
		事故相当	1979年度		3.1E-10		1.3E-07	4.1E-06	3.3E-08						4.3E-06			
			2020年度		7.7E-10		4.1E-07	1.3E-05	1.0E-07						1.4E-05			
		SA相当	1979年度		1.5E-09		6.5E-07	2.0E-05	1.6E-07						2.1E-05			
			2020年度		3.7E-09		2.0E-06	6.3E-05	5.0E-07						6.6E-05			
		SA相当(5km)	1979年度		4.6E-10		1.1E-07	3.4E-06	2.7E-08						3.5E-06			
			2020年度		8.7E-10		2.2E-07	6.7E-06	5.3E-08						7.0E-06			
		SA相当(10km)	1979年度		2.0E-10		3.8E-08	1.2E-06	9.5E-09						1.2E-06			
			2020年度		3.6E-10		7.8E-08	2.4E-06	1.9E-08						2.5E-06			
		SA相当(3基分)	1979年度		4.6E-09		2.0E-06	6.1E-05	4.8E-07						6.3E-05			
			2020年度		1.1E-08		6.1E-06	1.9E-04	1.5E-06						2.0E-04			
		SA相当(3基分, 5km)	1979年度		1.4E-09		3.2E-07	1.0E-05	8.1E-08						1.1E-05			
			2020年度		2.6E-09		6.5E-07	2.0E-05	1.6E-07						2.1E-05			
		SA相当(3基分, 10km)	1979年度		5.9E-10		1.2E-07	3.6E-06	2.9E-08						3.6E-06			
			2020年度		1.1E-09		2.3E-07	7.3E-06	5.8E-08						7.6E-06			
V 燃料デブリの取り出し・廃炉	添付資料4	1, 2, 3号機	1979年度	Cs-134, Cs-137(PCV内の核分裂生成物の中で支配的な核種を想定)	1.1E-08	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	4.5E-06	1.5E-04	1.1E-06	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	1.6E-04	5mSv以下(安全審査指針)		
		2020年度	2.8E-08		1.4E-05		4.7E-04	3.5E-06	4.9E-04									
	添付資料6 別添6	1号機	1979年度		1.7E-09		1.1E-06	1.9E-05	2.6E-07						2.0E-05			
		2020年度	4.1E-09		3.3E-06		6.1E-05	8.3E-07	6.5E-05									
	添付資料7 別添8	2号機	1979年度		3.7E-09		1.8E-06	4.7E-05	4.4E-07						4.9E-05			
		2020年度	1.0E-08		6.1E-06		1.6E-04	1.5E-06	1.7E-04									
	添付資料7 別添9	2号機(異常時)	1979年度		9.2E-07		9.3E-02	1.4E-02	2.3E-02						1.3E-01			
			2020年度		2.5E-06		3.2E-01	4.9E-02	7.8E-02						4.5E-01			
		2号機(通常時)	1979年度		4.2E-09		5.7E-04	8.5E-05	1.4E-04						8.0E-04			
			2020年度		9.8E-09		1.4E-03	2.1E-04	3.4E-04						1.9E-03			

記載箇所	対象号機等	気象条件	評価対象核種	気体							液体				合計	判断基準
				放射性希ガスからのγ線による外部被ばく	放出放射性核種からのβ線による外部被ばく	吸入摂取による内部被ばく	地表沈着による外部被ばく	再浮遊による内部被ばく	葉菜摂取による内部被ばく	牛乳摂取による内部被ばく	小計	放射性液体廃棄物等の排水	構内散水した屋内雨水の処理済水	構内散水した5、6号機滞留水の処理済水		
II-2.5 汚染水処理設備等	添付資料12 別紙10	1979年度	気体: H-3(タンク破損時の水分蒸発を想定) 直接線等: Cs-134, Cs-137, Sr-90等7核種(滞留水の核種組成から想定)	β核種の放出を想定しているため対象外	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	5.4E-01	沈着しないため対象外	同左	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	1.2E-02	5.5E-01	50μSv以下(耐震Cクラス相当)
		2020年度				5.4E-01								1.2E-02	5.5E-01	
		1979年度				5.9E+00								4.7E-01	6.4E+00	
		2020年度				6.0E+00								4.7E-01	6.4E+00	
II-2.16.1 多核種除去設備	添付資料2 別紙1	1979年度	気体: H-3(タンク破損時の水分蒸発を想定) 直接線等: Cs-134, Cs-137, Sr-90等7核種(滞留水の核種組成から想定)	β核種の放出を想定しているため対象外	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	4.0E-01	沈着しないため対象外	同左	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	<1	<2	50μSv以下(耐震Cクラス相当)
		2020年度				4.0E-01								<1	<2	
II-2.50 ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設	添付資料3	1979年度	気体: H-3(タンク破損時の水分蒸発を想定) 直接線等: Cs-134, Cs-137, Sr-90等7核種(滞留水の核種組成から想定)	β核種の放出を想定しているため対象外	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	3.6E-01	沈着しないため対象外	同左	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	<1	<1	50μSv以下(耐震Cクラス相当)
		2020年度				3.7E-01								<1	<1	

単位：mSv

記載箇所	対象号機等	気象条件	評価対象核種	気体							液体				合計	判断基準
				放射性希ガスからのγ線による外部被ばく	放出放射性核種からのβ線による外部被ばく	吸入摂取による内部被ばく	地表沈着による外部被ばく	再浮遊による内部被ばく	葉菜摂取による内部被ばく	牛乳摂取による内部被ばく	小計	放射性液体廃棄物等の排水	構内散水した屋内雨水の処理済水	構内散水した5、6号機滞留水の処理済水		
II-2.16.2 増設多核種除去設備	添付資料3 別紙2	1979年度	気体: Sr-90(スラリーの主要核種の飛散を想定) 直接線等: Cs-134, Cs-137, Sr-90等7核種(滞留水の核種組成から想定)	β核種の放出を想定しているため対象外	β核種による外部被ばくの実効線量(荷重係数0.01)は小さいため対象外	7.91E-02	β核種であり寄与が小さいため対象外	同左	事故の事後措置で被ばくは制限されるため対象外	-	/	/	/	1.36E+00	1.44E+00	5mSv以下(耐震Bクラス相当)
		2020年度				2.22E-01								1.36E+00	1.58E+00	

